

氏 名	枝川 永二郎
学 位 の 種 類	博士（医学）
学 位 記 番 号	第 6096 号
授与報告番号	甲第 3416 号
学位授与年月日	平成 26 年 3 月 31 日
学位授与の要件	学位規則第 4 条第 1 項該当者
学 位 論 文 名	C-reactive Protein Is a Useful Marker for Early Prediction of Anastomotic Leakage after Esophageal Reconstruction （食道癌術後における縫合不全早期予測に対する C 反応性蛋白の有用性について）
論文審査委員	主 査 末廣 茂文 教授 副 査 首藤 太一 教授 副 査 掛屋 弘 教授

論 文 内 容 の 要 旨

【目的】

食道癌術後において術後縫合不全は致死的な合併症の一つである。食道癌術後早期において、臨床上簡便に術後縫合不全を予測しうるマーカーを明らかにすることを目的とする。

【対象】

当科において 2009 年 4 月から 2011 年 3 月までに食道癌に対して根治的食道切除胃管再建術を行った 108 人を対象とした。また、検証群として 2007 年 4 月から 2009 年 3 月までに同手術を行った 96 人を対象とした。

【方法】

対象患者 108 人の体温・心拍数および血清中の白血球数・CRP・血小板数・Fibrinogen・FDP・ATⅢを術 6 日目まで測定した。対象患者を縫合不全ありと縫合不全なしの 2 群に分け、上記 8 つの項目においてそれぞれ比較検討を行った。手術は一期的右開胸開腹もしくは胸腔鏡下食道切除後縦隔胃管再建術を施行した。

【結果】

108 人中 21 人に縫合不全が合併し、術 3 日目の CRP 値と術 4 日目の Fibrinogen 値で縫合不全群は有意に高かった。ROC 曲線を求め得られた閾値は CRP が術 3 日目で 8.62mg/dL、Fibrinogen が術 4 日目で 712mg/dL であった。検証群でも比較検討を行った。検証群は 96 人中 23 人に縫合不全を認め、術 3 日目の CRP 値は縫合不全群で有意に高かったが、Fibrinogen 値では有意差を認めなかった。術 3 日目の CRP において、感度は 75.0%、特異度は 42.0%であった。

【結論】

食道癌術後において術後縫合不全を早期予測するために CRP 値は有用である。食道癌術後早期に縫合不全の発症を予測することで、縫合不全に関連する合併症を減らすことができ、在院日数や死亡率の低下に寄与することができると考えられた。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

食道癌術後において術後縫合不全は致死的な合併症の一つである。本論文は、食道癌術後早期において、臨床上簡便に術後縫合不全を予測しうるマーカーを明らかにすることを目的としたものである。

対象は 2009 年 4 月から 2011 年 3 月までに大阪市立大学肝胆膵外科において食道癌に対して根治的食道切除胃管再建術を行った 108 例で、検証群として 2007 年 4 月から 2009 年 3 月までに同手術を行った 96 例を対象とした。

方法は対象患者 108 人の体温・心拍数および血清中の白血球数・C 反応性蛋白(CRP)・血小板数・fibrinogen・fibrin 分解産物(FDP)・アンチトロンビンⅢを術後 6 日目まで測定した。対象患者を縫合不全ありと縫合不全なしの 2 群に分け、上記の 8 項目においてそれぞれ比較検討を行った。検証群においても縫合不全の有無により同様の比較を行った。手術は一期的右開胸開腹もしくは胸腔鏡下食

道切除後縦隔胃管再建術を施行した。

結果は、108 人中 21 人に縫合不全が合併し、縫合不全群で術後 3 日目の CRP 値と術後 4 日目の fibrinogen 値が有意に高かった。ROC 曲線を求め、得られた閾値は CRP が術後 3 日目で 8.62mg/dL、fibrinogen が術後 4 日目で 712mg/dL であった。検証群における検討では、96 人中 23 人に縫合不全を認め、術後 3 日目の CRP 値は縫合不全群で有意に高かったが、fibrinogen 値には有意差を認めなかった。術後 3 日目の CRP 値において、感度は 75.0%、特異度は 42.0%であった。

以上の結果から、本論文は、食道癌術後において術後縫合不全の早期予測に CRP 値が有用であることを明らかにしたものであり、食道癌術後早期に縫合不全の発症を予測することで、縫合不全に関連する合併症を減らすことができ、在院日数短縮や死亡率低下に寄与する点が大であると考えられた。よって、本研究者は博士（医学）の学位を授与されるに値するものと判定された。